

2016年8月1日

センコー株式会社

新潟運輸株式会社

## 韓国・釜山に物流センターを建設

～東アジアのハブ港で国際物流の拠点機能を強化～



(新センター完成予想図)

センコー株式会社(本社:大阪市、社長:福田泰久、以下、センコー)及び新潟運輸株式会社(本社:新潟市、社長:山田博義、以下新潟運輸)は、韓国で自動車運送事業を展開する HWA SUNG EXPRESS 社と合弁会社「NH-SENKO Logistics Co.,Ltd. (以下、NH-SENKO)」を設立し、韓国・釜山に物流センターを建設します。

新センターは、釜山新港隣接地の「熊東(ウンドン)物流団地」で、2017年10月に営業開始を予定し、同団地では、2014年3月からセンコーと現地企業の合弁会社である「KO-SENKO Logistics Co.,Ltd.」が運営する「KO-SENKO物流センター」を稼働済みです。

今回の新センター開設により、センコーは拠点機能をさらに充実し、東アジア地区での物流事業の強化、拡大を図ります。

一方、新潟運輸は、韓国に近い日本海側の新潟地区を中心に顧客基盤があり、日本全国への配送網を持ちます。そのメリットを活かし、新センターを経由する国内外の物流需要を取り込み、国際物流事業並びに国内輸送の拡大を図ります。

釜山新港は、アジア諸国の貨物が集まる国際的なハブ港であり、コンテナ取扱量は世界でも有数の規模を誇ります。さらに、「熊東(ウンドン)物流団地」は自由貿易地域(以下、FTZ)に指定されており、物流に関わる様々な手続きの簡素化、保税貨物の無期限保管や流通加工作業が可能など物流センターの運営には優位な条件が整っています。

新センターは、冷凍・冷蔵、危険物保管エリアを備えた複合機能のセンターで、商品の保管・流通加工の他、コンテナ荷役、港湾業務など、釜山新港の立地とFTZのメリットを活かした低コストの物流サービスを提供します。

〈参考〉 韓国 合併会社について

1. 合併会社の概要

- (1)会社名 : NH-SENKO Logistics Co.,Ltd.
- (2)設立日 : 2015年8月4日
- (3)代表者 : 藤原昭喜
- (4)本社所在地 : 大韓民国慶尚南道昌原市
- (5)資本金 : 40億ウォン(3.6億円)
- (6)出資比率 : センコー 55%、新潟運輸 10%  
HWA SUNG EXPRESS(ファソンエクスプレス) 35%

2. 出資企業概要

社名	センコー株式会社 SENKO CO.,Ltd	新潟運輸株式会社 Niigata Unyu Co.,Ltd	HWA SUNG EXPRESS ファソンエクスプレス株式会社
設立	1946年7月	1943年10月	1967年12月
代表者	福田 泰久	山田 博義	李 國東 (Kook-Dong Lee)
本社所在地	大阪市北区大淀中	新潟市中央区女池北	釜山広域市中区中央大路
資本金	240億11百万円	81百万円	2億ウォン(18百万円)
売上高	4,340億円 (2016年3月期)	519億円 (2016年4月期)	60億ウォン(5.4億円) (2015年12月期)
事業内容	自動車運送事業 倉庫事業 流通加工事業 その他	貨物自動車運送事業 貨物利用運送事業 通関業 倉庫業 その他	貨物自動車運送/周旋事業 複合運送/周旋業 物流倉庫業 その他
出資比率	55%	10%	35%

以上